

DMR-UBZ1 による DVD 鑑賞(22)

1. はじめに

前報(21)に引き続き、手持ちの DVD を聴いていきます。

2. DMR-UBZ1 による DVD 再生方法

前報(1)と同様の再生経路です。

今回は、下記の DVD ソフトを視聴します。

GENEON GNBC-1025

マーラー 交響曲第 6 番イ短調

クラウディオ・アバド指揮ルツェルン祝祭管弦楽団

ルツェルン祝祭コンサートホール収録 (Live)

Victor VIBC-9

グリーク ピアノ協奏曲

リスト ピアノ協奏曲 1 番

フジコ・ヘミングウェイ (ピアノ)

ヘイコ・マティアス・フォルシュター指揮ミュンヘン交響楽団

ミュンヘン アルコスタジオ収録

3. DMR-UBZ1 による DVD 再生結果

マーラーの交響曲第 6 番は、ともかく大編成の大曲です。ハープ 3 台、ピッコロ 2 本、シンバル 2 器やチェレスタ、木槌、銅鑼など、あまりみかけないものまで加わっています。出だしの行進曲風の刻みから、抒情的であったり、陰鬱であったり、軽快であったり、あるいは疾走したりとか、千変万化する表情をアバドが克明に描写し、精魂尽き果てたような熱演で、終幕までを引っ張っています。

グリークのピアノ協奏曲とリストのピアノ協奏曲 1 番は、スタジオ収録で画像は演奏とは関係ない風景画のようなものですが、音質としては非常によく録れています。

グリークのピアノ協奏曲はフジコ・ヘミングウェイのスケール感あふれる演奏です。

リストのピアノ協奏曲 1 番はロマンチズムあふれる演奏です。

4. まとめ

上記の 2 枚の DVD とも演奏が素晴らしくレベルの高いものです。ホールのライブ収録とスタジオ収録の違いはありますが、演奏も音質もハイレベルのものです。

以上